

今週の
みことば

「悪魔の誘惑」

(申命記30章15節～20節)

「見よ、私は確かに今日あなたの前に、いのちと幸い、死とわざわいを置く。もしあなたが、私が今日あなたに命じる命令に聞き、あなたの神、主を愛し、主の道に歩み、主の命令と掟と定めを守るなら、あなたは生きて数を増やし、あなたの神、主は、あなたが入って行って所有しようとしている地で、あなたを祝福される。」(30:15,16)

(マタイの福音書4章1節～11節)

「それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。そして四十日四十夜、断食をし、その後で空腹を覚えられた。」(4:1,2)

今日のメッセージ要旨

◎私たちがこの地上で生活するとき様々な誘惑を受けます。その時どうすれば良いのでしょうか？

◎申命記29章では、カナンに入れてもらったイスラエルの民も不従順になると追い出されるところで終わっている。30章には、一度国を追われた民が再びそこに戻して戴けるという福音が記されている(1-5)。戻されるだけでなく、彼らの心が新しくされる(6-14)。心を覆っている皮を主ご自身が切り捨てて、新しい心を与えて下さるのです。神様が、御霊によって私たちの心を新しくされると、神様のお心を記しているみ言葉が近く慕わしく感じるようになる。内にいます聖霊が側で語って下さるからです。イスラエルの民が神様の律法を守ることによる祝福とのろいを受ける誓約をした事が記されている。そして、もし守らないことによってたとい散らされたとしても、その国々で神様に立ち返る時に与えられる主の祝福について語られています。モーセが命じたのは奴隷の地から解放して下さった主を愛し、その戒めを守ることでした。

◎マタイの福音書4章には、イエス様が宣教に遣わされる前に、「荒れ野の誘惑」を受けられたことが記されています。イエス・キリスト様はバプテスマのヨハネから洗礼を受けられた時、聖霊に満たされ、「あなたは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」と神様のみ声を聞かれたのです。その後、「御霊に導かれ」て荒野におり、悪魔の試みを受けられたのです。私たちの歩みも自分の考えで行動するのではなく、神様の導きに従うことを第一にしたいものです。

◎イエス・キリスト様は三つの誘惑を受けられました。第一は「パン」、第二は「魅惑的なもの」、第三は「権力と繁栄」の誘いでした。それらの誘惑にイエス・キリスト様は聖書のみ言葉(何れも申命記)によって勝利を得られたのです。それだけイエス・キリスト様は聖書に精通しておられたのです。私たちも聖書を通読し、み言葉に精通したいものです。

◎創世記3章には、アダムとエバが蛇の誘惑を受けた時、「目が開け、神のようになり、善悪を知るようになる」と誘われ、「食べるのに良く、目に麗しく、賢くする」のに好ましく覚え、神様のみ言葉に背き、禁断の木の実を取って食べ、罪を犯したのです。またイスラエルの民は奴隷の地エジプトを脱出し、荒野での旅路において「パンがない」、「水がない」と呟き、「偶像を拝んだ」のです。しかし、真の救い主であられるイエス・キリスト様は、それらの誘惑に勝利を得られた。

◎サタン(悪魔)の誘惑の常套手段は、「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」等によるのです(ヨハネ②2:16)。しかし「神の子(イエス・キリスト)が現れたのは悪魔のしわざを打ちこわすため」です(同3:8)。「神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです」(ローマ8:14)。

◎イエス・キリスト様は、信じる私たちに真の命を与えてくださる御方ですから、いつもイエス・キリスト様に信頼し、常にその導きに従って歩ませていただくではありませんか。